

中学生の職場体験を行っています!!

仙台市では仙台版キャリア教育として「仙台自分づくり教育」を推進しており、その一つとして、市内の中学生が様々な職場で「職場体験活動」を行っています。文化財課では今年度も向田文化財整理収蔵室や郡山遺跡発掘調査事務所、仙台城二の丸事務所で発掘調査の野外作業や整理作業など様々な体験・活動をしています。



ヨヘエケン

遺物を発見!?



国分寺跡から出た約1300年前の瓦を洗っているよ。

オニガー



エンメンケン

写真のデジタル化作業。パソコンを使った作業もあるよ。

～ 職場体験をした生徒からの声 ～

- ・仕事との出会いに関する話が印象に残りました。今までどういう経緯があって、それぞれの仕事に就いたのか知らなかったのが、とても参考になりました!
- ・職場体験を通して「働く上で大切な事」また「働いていく中で見つけることができる大切なもの」に気づけた気がします!

文化財 イベントスケジュール

○「第69回文化財展 ～明治150年 文化財からたどる仙台の近代化～」

日時：平成30年12月5日(水)～12月9日(日)

会場：せんだいメディアテーク1階 オープンスクエア

記念講演会 日 時 12月9日(日) 13:00～15:00

タイトル 「仙台城の明治維新」

講演者 藤澤 敦 氏(東北大学総合学術博物館館長)

会場 せんだいメディアテーク1階 特設ステージ

○「第8回城下町せんだい日本伝統文化フェア」

日時：平成31年1月19日(土)

内容：市内で活動する伝統文化団体による親子体験・交流事業

会場：せんだいメディアテーク1階 オープンスクエア

○「第32回民俗芸能のつどい ～未来に伝える技とところ～」

日時：平成31年2月9日(土) 13時15分開演

内容：市内外の民俗芸能の上演・解説

会場：日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)

出演：・秋保神社神楽保存会(太白区/仙台市登録無形民俗文化財)

・上谷刈の鹿踊・剣舞保存会(泉区/宮城県指定無形民俗文化財)

・長袋の田植踊保存会(太白区/国指定重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産)

【ゲスト】山屋田植踊保存会(岩手県紫波町/国指定重要無形民俗文化財)



めぐちゃん



まさむねくん

遺跡見学会など最新の文化財関連情報は仙台市文化財課のホームページで!!

<https://www.city.sendai.jp/kurashi/manabu/kyoiku/inkai/bunkazai/>

文化財 せんだい



めぐちゃん

No.122

平成30年(2018年)11月発行

仙台市教育委員会文化財課

仙台市青葉区上杉一丁目5-12

上杉分庁舎 10階

〒980-0011 Tel:022-214-8893

速報! 仙台発掘調査

平成30年度もたくさんの発掘調査を行っています。その中からいくつかの調査をご紹介します。

こおりやま 郡山遺跡

郡山遺跡は、JR長町駅の東側から国道4号線バイパスの間に広がる、縄文時代から平安時代にかけての遺跡です。春に行った第276次調査では、奈良時代の竪穴住居跡8軒をはじめ、溝跡・土坑・ピットが確認されました。過去に行われた周辺の調査でも多くの竪穴住居跡が確認されており、この辺りは郡山官衙(役所)に関わる人々が住んでいた場所であると考えられています。また調査では、土師器・須恵器などが多数見つかりました。



調査区の全景

かじやしき 鍛冶屋敷A遺跡

鍛冶屋敷A遺跡は、JR長町駅の南西約3kmに位置する縄文時代から奈良・平安時代、中世にかけての遺跡です。これまでの調査では、奈良・平安時代の竪穴住居跡のほか、土製品や鞆の羽口・鉄滓等の鍛冶に関する遺物が発見されています。今回の調査では、中世の溝跡や土坑、井戸跡などの遺構が見つかり、陶器が出土しました。また、縄文時代後期の遺物を含む層からは、縄文土器が多数見つかりました。



埋められていた縄文土器

ろくたんだ 六反田遺跡

六反田遺跡は地下鉄富沢駅の北東側に位置する、縄文時代から近世にかけての遺跡です。今回の発掘調査は大野田小学校の校舎増築に伴い行われました。調査では奈良時代の竪穴住居跡2軒のほか、奈良時代から平安時代にかけての畑の耕作痕が確認されました。竪穴住居跡からは煮炊きをするためのカマドや土器が見つかり、当時の生活の様子がうかがえます。



奈良時代の竪穴住居跡

第68回文化財展 ～文化財この一年～

平成30年8月21日から10月8日まで、東北電力グリーンプラザにおいて第68回文化財展「文化財この一年」を開催しました。

今回の展示では、期間中に展示を入れ替えて前期と後期に分けて行いました。前期は宮城野区岩切の今市遺跡の調査で出土した古銭や太白区富沢の川前遺跡の岩偶など、平成29年度に仙台市内で行われた発掘調査の成果を中心に紹介しました。後期は昨年度新たに指定・登録された定義如来西方寺の建造物や仙台消防階子乗りについて紹介し、平成26年度から4年をかけて整理・調査した朴沢学園裁縫教育資料の一部を展示しました。



文化財課職員による展示解説の様子(前期展示)



朴沢学園裁縫教育資料(後期展示)

文化財説明板を新設しました!

○林子平ゆかりの地

設置場所 若林区表柴田町(仙台第一高等学校南向い)

林子平(1738～1793年)は、姉が仙台藩主の側室となり、兄・林嘉善が仙台藩士となった縁で、仙台に住むこととなりました。仙台藩の学者と親交を結びながら江戸や長崎へ游学し、そこでの見聞をもとに『三国通覧図説』・『海国兵談』等の書物を著しました。寛政3年(1791年)、幕府によってこれらの書物が規制されると、子平自身も兄の屋敷での謹慎を命じられました。このことから今回屋敷跡付近に説明板を設置しました。



新設した説明板

仙台城跡石垣見学会を開催しました!

7月28日と8月18日に「仙台城跡夏休み親子石垣見学会」を開催し、17組、39名の親子が参加しました。使われている石材の大きさを測ったり、重さについて解説を聞いたりすることで、石垣そのものだけでなく、当時の職人の仕事に対しても興味を持ってもらえました。また、普段は開放していない西門跡石垣も見学しました。



石材の大きさを測っている様子



石垣の傾きを調べている様子

高校生ボランティアが頑張っています!

史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設では、「陸奥国分寺薬師堂ガイドボランティア会」が施設内や史跡地内のガイドを行っています。本年度より、陸奥国分寺跡に隣接する聖和学園高校生の有志が施設内のガイド活動に加わりました。生徒達は史跡としての陸奥国分寺跡の魅力を発信するために、研修も行っているとのことでした。活動は不定期ですが、ぜひ高校生のガイドを聞きにいらしてください。



施設内の研修の様子



パネルの前で解説する様子

「明治150年」第2回

平成30年(2018年)は、明治元年(1868年)から150年の年に当たります。

◇飯沼貞吉の墓(青葉区北山 輪王寺)

慶応4年(1868)鳥羽・伏見の戦い後、新政府軍と旧幕府軍との間で戊辰戦争が起きました。会津藩は新政府軍にとって、旧幕府勢力の中心と見なされました。西洋式の戦い方と圧倒的な物量で迫る新政府軍に対して、会津藩は軍制を変え、年齢による組織改革を行います。16歳から17歳で「白虎隊」という部隊が構成されました。白虎隊は実際の戦闘には出ず、城中の警護にあたる予定でしたが、戦闘の激化によって出陣命令が下ります。戸ノ口原の戦いで敗れ、戦死者・負傷者が出る中、郊外の飯盛山に落ち延びた者は、これ以上は戦えないと悟り、自刃を決行します。その中、喉を突いた飯沼貞吉のみが唯一、一命を取り留めました。その後貞吉は工部省(のちの通信部)に入り、明治43年(1910)に仙台通信管理局工務部長に就任し、日本の電信電話の発展に貢献しました。退官後も仙台に住み続け、昭和6年(1931)に亡くなりました。あまり多くのことは語らず、寡黙な方だったそうです。仙台市内の小学校の多くは、6年生の修学旅行で会津に行き、白虎隊や貞吉の最期を飯盛山で聞き、明治期の歴史を学んでいます。



飯沼貞吉の墓(輪王寺)